韓国慶山（キョンサン）市を訪ねて

2013年度（平成25年度）
中学生韓国派遣記念文集

JIEA
城陽市国際交流協会

慶山市役所前にて

この文集は城陽市国際交流協会が主催した、2014 年 3 月 25 日から 28 日までの 3 泊 4 日の中学生韓国派遣団に参加した市内中学生 9 人の感想文です。

この事業は姉妹都市である大韓民国慶山（キョンサン）市への訪問・交流を通して青少年に国際理解を高めてもらうために当協会が 1994 年から実施しているものです。今回で 15 回目を迎え 149 人の中学生が慶山市を訪問しました。

隣国である韓国は、「韓流」ブームを経て身近な国となりました。時折緊張が高まることもありますが、訪問前の結団式で市長が直接会うこと意義を話されました。そして実際に訪問してみると、人々との交流を通して感じることの大切さが各人の感想文から読み取れます。

文化や習慣に触れ、慶山市の中学生との交流から得た体験が、将来隣国の仲間として共に歩んでいく礎となり、真に国際的な視野を持った人として成長されることを期待しています。

目　　次

		ページ
派遣団の主な日程		2
「最高の四日間」・・・・・・・・	東城陽中学校　2 年　大藤　瑤子	3
「韓国訪問」・・・・・・・・・	東城陽中学校　2 年　大矢　千紗	5
「韓国派遣団に参加して」・・・・・	南城陽中学校　2 年　奥　友香	6
「得たもの」・・・・・・・・・	東城陽中学校　3 年　小島　莉永花	8
「韓国に行って」・・・・・・・・	東城陽中学校　2 年　小谷　徹也	9
「韓国に行って」・・・・・・・・	東城陽中学校　2 年　嶋崎　綾乃	11
「韓国に行って」・・・・・・・・	東城陽中学校　2 年　寺前　匠哉	13
「韓国慶山市を訪ねて」・・・・・・	東城陽中学校　2 年　中村　千春	14
「韓国派遣団に参加して」・・・・・	南城陽中学校　2 年　ヤールオール　エリフ	16
	※学年は 2013 年度のものです。	
あとがき	派遣団団長・城陽市国際交流協会理事　有村　誠	20
	引率・協会職員　大久保　雅由・馬場　牧子	

2013年度派遣団の主な日程

2014年3月25日（火）

城陽市役所を7時45分に出発
関西国際空港から釜山金海（プサン キメ）空港へ
バスで慶山（キョンサン）市へ移動
慶山市長・慶山市議会表敬訪問
慶山市立博物館見学
慶山市場（シジャン）見学
慶山溶岩温泉ホテル泊

3月26日（水）

城陽公園見学
新上（シンサン）中学校訪問
サプサル犬研究所見学
カッパウィ登山
ハヌルホス見学
慶山溶岩温泉ホテル泊

3月27日（木）

東大邱（トンテグ）駅からKTXでソウルへ移動
光化門（クァンファムン）アートホール（仮面踊り体験）
南山韓屋村（ナムサンハノクマウル）見学
ソウルタワー見学

3月28日（日）

景福宮（キョンボックン）（世界文化遺産）見学
仁寺洞（インサドン）・南大門（ナンデムン）市場（シジャン）・明洞（ミョンドン）散策
ソウル仁川（インチョン）国際空港から関西国際空港へ
城陽市役所に23時帰着
※東大門市場に行く予定でしたが、当日に南大門市場に変更になりました。

慶山市議会で記念撮影

「最高の四日間」

東城陽中学校　２年　大藤（おおふじ）　瑤子（ようこ）

私はこの四日間で学校では学べないいろんな事を学びました。韓国の文化やマナー、言語など日常とは違いとても興味深く感じることができました。その四日間を紹介します。

一日目の慶山（キョンサン）市長表敬訪問ではたくさんの人が出迎えてくださったので新鮮な気持ちになりました。そこでは市長のお話と慶山市のVTRを見ました。それを見て韓国で過ごすのが、もっと楽しみになりました。次に慶山市議会訪問をし、そこでは私があいさつをしました。慣れない韓国語をしゃべるのは難しく、緊張したけど最後に拍手をもらえたので嬉しかったです。その後バスに乗って市立博物館見学に行きました。

市議会にて韓国語であいさつ

バスの中ではみんなとしゃべったりしました。だから移動時間も楽しく過ごすことができました。

市立博物館での見学は韓国の歴史を知ることができました。日本の文化と似ているものもあれば違うものもありました。違いを知ることにより比較ができるのでもっと知りたいと思うことができました。

二日目はいろいろな所に行きました。その中でも一番印象に残っているのは新上（シンサン）中学校訪問です。そこでも、私たちを歓迎してくれました。中へ入り、体育館に行くと、ダンスや空手、太鼓などの演奏で、もてなしてくれました。どれも魅力があり、びっくりしました。私の学校では、こういった部活動がないのでおもしろいなと思いました。私たちも衣装も着て太鼓をたたきました。最初はやり方が分からなかったけど教えてもらううちにだんだんできるようになっていきました。

韓国の伝統楽器に挑戦

お昼は韓国の中学生と一緒にビビンバを食べました。韓国の中学生は、とても優しく接してくれたのでとても楽しくごはんを食べることができました。そしてアクセサリーを作りました。作り方は難しかったけど、教えてもらったり教えてあげたりして作ることができました。私は韓国の言葉は、「アニョハセヨ」や「カムサハムニダ」など一般的なことしか知らないのに韓国の中学生の中には（新山中学校では日本語の選択授業がある）、キレイに日本語をしゃべっている子がいたのでびっくりしました。私も韓国の人とスラスラ韓国語でしゃべりたいなと思いました。

最後には中学生と連絡先や携帯番号を交換しました。とても仲良くなれてよかったです。そして「ト　マンナヨ!!」（また会いましょう）といってお別れしました。

そのあとには、サプサル犬研究所や、カッパウィ登山、ハヌルホスへ見学などいろいろな所に行きました。とても疲れたけれど、疲れた以上に楽しい思い出ができました。

そしてホテルに着き、女子７人で集まり、トラ

ンプやいろいろな遊びをしました。疲れているにもかかわらず、時間をわすれて、はしゃいでいました。とっても楽しかったです。

三日目からは、ソウルに行きました。ソウルは、とても行ってみたかった所だったのでとてもワクワクしていました。

新幹線（KTX）でソウルにつき、ホテルに荷物をおいてから観光へ行きました。

光化門（クァンファムン）アートホールでは、仮面踊り体験をしました。とても怖いお面ばっかりでした。踊りは難しかったけど楽しかったです。

そしてバスでソウルタワーへ行きました。バスではある意味いい体験をしました。なぜかというと、とても運転が荒かったからです。日本ではバス停につくと、人が降りてドアが閉まってから出発するけど韓国では人が降りて、ドアがまだ閉まっていないにもかかわらず出発していました。私はバスに乗るたびに乗物酔いをしました。

そしてソウルタワーにつきました。上から見た景色は少し曇っていたけどキレイでした。晴れた時にも行きたいと思いました。

四日目は市内見学をしました。

部活の友達や家族などにお土産を買いました。お土産を選ぶのも楽しかったです。

仁寺洞（インサドン）・南大門（ナンデムン）は、とても広かったです。一つ

仁寺洞でお買い物

一つに理由があり、とても興味深いものでした。

この四日間、いろんなハプニングがありました。でもそれも一つの思い出となりました。そしてこの仲間と行けて本当に楽しかったし、とても仲良くなれて嬉しいです。

韓国での四日間は一生の思い出となりました。

ト　マンナヨ　또 만나요。

「韓国訪問」

東城陽中学校　２年　大矢（おおや）　千紗（ちさ）

韓国の慶山（キョンサン）市に着いて、まず最初に慶山市役所に行きました。会議室で市長さんや偉い方々と挨拶をして、韓国語でスピーチをしました。スピーチを終えると歓声を上げてみなさんが拍手してくれました。日本と変わらず温かい人たちがいるなと思いました。そして慶山市のPVを見せてもらいました。慶山市は城陽市よりは都会で、それでも山や川などの自然がある大きな都市だと知りました。市役所の人達は、日本と韓国がけんかをしているから日本人の事を悪く思っていたりするのかなと思っていたけど、そんなことは無くて私達にとても親切に接してくれました。

市立博物館へ行き、韓国の歴史や伝統的な文化を学びました。まず、韓国の百年前の暮らしの様子を表している人形や家を見ました。男の人と女の人が別々に暮らしていたと聞いてとても驚きました。昔の王様を埋葬する墓はどうなっているのかも、ガイドさんに詳しく説明してもらいました。王様の復活を願い王様の使っていた食器や王様の部下を共に墓に入れていたと聞き、日本の古墳時代の埋葬の仕方と似て

韓服体験

いるなと感じました。そして、昔の韓国の人々も豊作を願い祭りを催していたのも知りました。たくさんの仮面があり、そのうちの一つを顔につけておどるという方法でした。私も体験コーナーでその仮面をつけて遊びました。その仮面の顔の表情は恐いけど、おもしろかったです。韓国の歴史をたくさん知ることができました。次もう一回、博物館へ行き詳しく見てまわりたいなと思いました。

仮面をつけてポーズ！

夜、ホテルで風呂に入っていると女の人が韓国語で話しかけてくれました。私たちは何も分からず、ただ日本人だという事を伝えようとしました。ですが、全く通じずきちんと話をすることができませんでした。言葉の壁をそこで感じました。

ついに韓国の中学生と交流するために新上（シンサン）中学校へ行きました。新上中学校の生徒達は私達に夢中で手を振ってくれていました。最初に会議室へ案内され、新上中学校の紹介をしてもらいました。新上中学校は私の中学校とは少し違い、行事が多く、自由な校風に見えました。更に、勉強にまじめに取り組んでいる人もとても多いということに気がつきました。同じ会議室にいた12人ほどの中学生のほとんどが週7日、毎日塾へ通っているのです。私は通塾日が週4日で、自分でも結構多いなと思っていたのですがそのことを聞いて大変驚きました。韓国の中学生は日本の中学生より勉強をしているので、日本の中学生も将来韓国と色々な意味で良いライバルになれるように勉強しなければならないなとひしひしと感じました。そして、新上中学校の部活動のダンスと伝統的な4つの打楽器を使った演奏と慶山市の大学生による韓国伝統の護身術であるテコンドーの発表を見ました。ダンスは8人ほどの女の子達がおどってくれました。とても、中学生とは思えないぐらいのキレのあるダンスで感動しました。伝統的な楽器での演奏は迫力があり、演奏している中学生がみんなで目を合わせながら楽しそうにしているのを見て自分も楽しくなりました。テコンドーは名前は聞いたことがあったけど実際見ると迫力があってかっこよくて衝撃を受けました。発表を見た後衣装を着て伝統的な楽器を演奏する体験をしました。日本の音楽とは少しリズムが違って最初は難しかったけど、親切に教えてくれたのでとても楽しい体験になりました。その後、韓国の中学生と韓国の給食を食べました。ビビンバで、辛いみそのようなものや具を入れて混ぜて食べたのですが韓国の中学生はご飯がまっ赤になるまで辛いみそのようなものを入れていたので驚きました。それでも、韓国の中学生は平気な顔で食べていました。夜ごはんでも辛いものが多く出ていたので、改めて韓国の人は辛いものを日常的に食べているという事を実感しました。再び会議室に戻り、ブレスレットを作って自分のペアだった新上中学校のミンちゃんと話しました。そこで、韓国では日本語を授業で習うということを知りました。日本では英語しか外国語の授業はないのに、なぜ習うのだろうと思いました。ミンちゃんに聞くと、1週間に2回日本語の授業を受けているという事でした。だからミンちゃんはとても日本語が上手でした。日本のことは好きかどうか聞いたら、「はい！大好きです！」と言ってくれたのでとてもうれしかったです。

他にも色んな場所へ行ったけど、韓国の中学生との交流が一番心に残りました。今、日本と韓国は関係が若干悪いけど、私が会った韓国の人はみんなやさしかったです。だから、私は日本と韓国が内側の面だけでなく外側の面でも仲よくなるように努めていきたいと思いました。

市役所にて韓国語であいさつ

「韓国派遣団に参加して」

南城陽中学校　２年　奥（おく）　友香（ゆうか）

私が韓国派遣団に参加したいと思った理由は、「韓国は近くて遠い国」という言葉からだ。日本では、K-POP や韓国ドラマは人気があり、ファンも多い。又、キムチ・韓国のり・ビビンバなどの韓国の食べ物もよく食べられている。この様に韓国は、身近に感じられる国だと私は思っていた。なのに、「近くて遠い国」と言われていることが気になっていた。だから、実際に韓国を訪問して、韓国とはどんな国なのか、本当に近くて遠い国なのか、確かめたいと思った。

一日目、不安もあったが楽しみな気持ちのほうが大きかった。私は、ワクワクしながら飛行機に乗り、一時間ちょっとでプサンの金海（キメ）空港に到着した。空港は、看板などが全てハングル文字だったので、「ほんとうに韓国に来たんだ。」と実感した。

空港で慶山（キョンサン）市の方と会い、バスに乗り、慶山市の市長さんを訪ねた。少し緊張した。そこで、慶山市の紹介ビデオをみた。慶山市は大学がたくさんあり、とても教育熱心なんだなという印象を持った。その後、議会に行った。議員さんが座っているイスに座らせてもらった。めったにない貴重な経験だったので、すごくうれしかった。

市議会訪問

次に、博物館を見学した。韓国の昔の家や王様のお墓などをみることができて、すごく楽しかった。以前よりもっと、韓国の歴史や伝統文化に興味を持った。その後に行った市場は、博物館でみた昔の市場の模型の面影が残っていて、歩いているだけで楽しめた。

この日の夕食はプルコギだった。私は、韓国料理を食べることも楽しみにしていたので、とてもおいしい料理を食べることができ、とても満足だった。おはしやお茶わんが金属でできていたり、食べる時に食器を持ち上げないなどの、日本との食文化の違いにも気づくことができた。あと、オンドルのはいったホテルで、夜にみんなで遊んだことも、楽しい思いでの一つだ。

韓国で最初の食事

二日目、初めに城陽公園に行った。いろんな種類の桜が咲いていて、とてもきれいだった。日本庭園をモチーフにした、石段などもあった。その石が、漢字の「心」にみえるように並んでいると聞いたときは、すごく感動した。

次に、新上（シンサン）中学校を訪問した。私はこの訪問を一番楽しみにしていた。バスを降りると、たくさんの先生と生徒が歓迎してくれていた。教室の窓からも、たくさんの生徒が手をふってくれたり、日本語でしゃべりかけてきてくれたり……。スターになった気分ですごくうれしかった。新上中学校の人たちと、韓国の伝統文化を体験したり、一緒に給食を食べたり、あっというまにお別れの時が来てしまった。初めはとても緊張していたけど、仲良くなると時間がすぎるのが早く、すごく

さみしかった。最後に仲良くなった女の子が、日本語で「ありがとう。愛してる。」と言ってくれたのがとてもうれしかった。本当にもっと一緒にいたいと思った。

韓国の友だちと記念撮影

学校訪問の後にはサプサル犬の研究所を見学したり、カッパウィ山に登ったりした。カッパウィ山を登るのは、すごくしんどかったけど、頂上からみる景色はすごくきれいだった。

三日目は、KTXという乗り物に乗り、ソウルに行った。ここで、慶山市の方とお別れだったので、すごくさみしかった。ソウルに着くと、高いビルがたくさん建っていて、都会な感じだった。ホテルにチェックインした後、光化門(クァンファムン)アートホールに行った。そこでは、仮面踊りを体験した。すごく難しくて、恥ずかしかったけど、最後にできるようになった時は、うれしくてとても良い気分だった。

その後は、南山韓屋村(ナムサンハノクマウル)に行ったり、ソウルタワーに登ったりした。ソウルタワーから見る景色はすごくきれいだったし、ガイドさんの説明は勉強になった。ソウル市内を見学した三日目は、すごく楽しい思い出となった。

四日目、世界遺産の景福宮(キョンボックン)を見学したり、仁寺洞(インサドン)や南大門(ナンデムン)に行ったりした。仁寺洞や南大門では、家族や友達へのおみやげをたくさん買うことができた。

韓国で食べた最後のご飯は、石焼きビビンバだった。日本でも食べたことがあったけど、本場の韓国で食べるほうが、何倍もおいしく感じた。

夕方になり、日本に帰る時間になった。この四日間は、長いようですごく短かった。それくらい、この韓国訪問は楽しくて、一生忘れない体験となった。また機会があれば、韓国を訪れたいと本当に思った。

この派遣団に参加して、私にとって韓国は、より近い国となった。いつか、韓国が「近くて近い国」と言われるようになればいいな、と思う。

慶山市長表敬訪問

慶山市役所

市長と握手

慶山市議会表敬訪問

慶山市議会

議長になったみたい?!

「得たもの」

東城陽中学校　３年　小島（こじま）　莉永花（りえか）

私はこの国際交流によって得たものがたくさんあります。それを振り返っていくとともに韓国に行く前の自分と、行った後の自分を比べてみようと思います。

まずはじめに私の将来の夢について話しておこうと思います。私の将来の夢は、英語などの外国語をつかう職業につくことです。外国語を使うということは、今よりもっと世界一体化、グローバル化した社会では、あたり前のことになっていると思います。私はそんな社会でも活躍できるような人間になりたいと思っています。そのための第一歩を海外の友達をたくさんつくるということからはじめたいと思いました。

夏休みに韓国の中学生が私の中学校に訪問してきたとき、私には友達が一人できました。

その友達とは今でもメールをしたりして、連絡を取り合っています。中学生で海外に友達がいるということは、自分にとって大きなもので、これから生きていく上で大人になったときに活かせるものだと思います。

なので私はこの国際交流によって海外の友達をもっとたくさん作りたいと思ってこの国際交流に参加しようと思いました。これがきっかけです。

慶山市立博物館にて古代の衣装を試着

はじめは本当に友達ができるか、とても不安でした。ですが、実際に中学生に会うとそんな不安はあっというまにとんでいきました。どんなに政治・経済の問題という壁や、言葉が通じないという壁も、同じ中学生で顔や目を合わせてコミュニケーションを取ると、そんな壁なんて心がすぐに乗りこえて仲良くなることができました。なので心が通じあえば、いつかは国同士仲良くなることができるのではないかと私は思いました。心が通じ合うということはとても大切だと思うので、お互いの心を考えるということを大切にしていきたいと思います。

化粧品会社「ハヌルホス」にて石鹸作り体験

韓国に行く前の私と行った後の私で変わったこと、それは、海外にいる友達が増えたということです。私はこの国際交流によって新たに友達が三人できました。このように出会いの輪を広げるということは、これから先、未来を担う私たちにとっては必要不可欠なことであって、こういう限られた機会を大切にしていくことによって、世界の輪が広がり、世界一体化、グローバル化につながっていくと私は思いました。

韓国へ行く前と行った後での変わったことがもう一つあります。それは、色々なことにおいての考え方です。

私は韓国に行ったことによって新たな考え方が生まれました。それは自分の思い、考えを相手に伝えようと努力するということです。普段、日本で過ごしていると、二、三回言っても相手に伝えたいことが伝わらないとき、あきらめてしまう、という人は少なくないと思います。私もそういう傾向にいました。ですが、韓国へ行くと、自然にそうではなくなっていました。どんなに頑張って

でも伝えたいということがあれば、何度でも伝わるまで身ぶり手ぶりを大きくしてでも伝えようと努力します。それは、会話の輪を広げたかったからです。会話の輪を広げるということは、仲良くなるためには絶対に必要なコミュニケーションですよね。だからです。だからそこ一生懸命に伝えようとしたのだと思います。

私は国際交流で、一生懸命に相手に伝えるということを学びました。一生懸命に伝えるということは、今まで私は、できているようでできていなかったのだと思います。

国が違うと、言葉も違う、文化も違うなどたくさんの違うことがあります。ですが、共通することもあります。それは、同じ地球に生まれ、同じ人間であり、相手の気持ちを考えることができます。相手の気持ちをお互いが考えることによって世界が平和で仲良くしていくことが出来るようになるかもしれません。そのために、今私達が出来ることは、一生懸命に思っていることを伝え、相手のことを思いやる。国際交流の機会では、こういった事を大切にし、学ぶことが出来ます。私はこれからも、このような国際交流が発展し、世界一体化、グローバル化が進むことを願います。

友達がたくさんできました

「韓国に行って」

東城陽中学校　２年　小谷（こたに）　徹也（てつや）

僕は中学生韓国派遣団員として多くの事を体験し、学んできました。そして僕にとって初めての海外を団員のみんなと楽しむことができました。

出発前は向こうの中学生とうまくコミュニケーションをとれるか、食事がおいしく食べられるか、初めての海外なので不安だらけだったけれど、実際に行ってみたらとても短く感じたし、四日間を過ごしてみるとこの韓国派遣に参加して本当に良かったと思います。

去年、東城陽中学校に韓国の中学生が来られたけれど、なかなか上手く話すことができなかったので楽しく会話したいと思って参加しました。今回の中学生との交流でジェスチャーと韓国語と英語で話し合えたのでよかったです。

食事では特にお肉とご飯がおいしかったです。辛い食べ物にも進んで挑戦してみました。韓国の食べ物は辛いというイメージが強かったけれど、辛くない食べ物も多くあって少し驚きました。とてもおいしかったけれど、中には想像以上に辛過ぎる食べ物も多くありました。それと、日本ならお箸は木で器は陶器なのに、韓国では、お箸や、ご飯の器が銀色の金属だった事にも驚きました。

伝統工芸「組み紐」に挑戦

中学生との交流で感じたのは韓国の中学生がとても社交的で積極的だったという事です。会って間もないのに向こうから「こんにちは」と話しかけてくれて、しだいにうちとけて仲良くなれたりなど、韓国の中学生から声をかけてくれる事がほ

とんどでした。僕が一番すごいと思ったのはテコンドーです。気迫がすごく木の割り方がすごかったです。回転しながらや、バック宙、連続で割っていったり、一番びっくりしたのが刀にささったりんごを蹴って割ったことです。ミスした事を全然感じさせられないような素晴らしいテコンドーでした。韓国の中学生による４つの打楽器を使った演奏の後にその楽器を演奏する体験をしました。そこで僕が体験した楽器は太鼓です。そこでも中学生は日本語と英語を使ってくれて分かりやすかったです。また、やり方も丁寧に教えてくれたのですぐにできるようになりました。給食を食べた時は驚いたことが多かったです。お盆に直接、からあげや汁物を入れたり、量の多さに驚きました。僕たちみたいに教室で食べるのではなく、食堂で食べる事にも驚きました。韓国の夕食は量が多かったけど、おいしかったです。

丁寧に教えてくれました

三日目の慶山（キョンサン）からソウルに移動した時、電車で少し寝てしまって起きた時、窓の外を見るととても都会で、景色が一変していたのにとても驚きました。駅では慶山とは違って日本語や英語を話している人がとても多く、ビルがたくさんあって店もたくさんある場所なのでとても楽しかったです。その中でちょっと苦手だったもの、それはバスです。なぜかというと運転する人によってあれほど乗りごこちが違ったのは驚きです。しっかり停車する前にドアを開けたり、揺れるのが続いたりめったに日本で起こらない事が体験できておもしろかったけれどびっくりしました。地下鉄にも乗って利用する人が多いんだと思いました。僕たちが乗った時はだいたい席が少し空いているぐらいか、多ければギュウギュウづめでした。僕はあまり地下鉄を利用しないので日本と比べる事はできないけれど、たぶん韓国の人は利用する事が多いと思います。タクシーは三つの色に分かれていると聞いて驚きました。白、オレンジ、黒の三色で黒色のタクシーは日本語も上手いと聞きました。残念ながらタクシーに乗る機会はなかったですが、今度韓国を訪れる事があればぜひいつか乗ってみたいと思います。僕たちも使ったカードはバス、電車で使えて、切符を買うより便利だと思いました。コンビニでもチャージできるのも便利だと思います。

苦手だった韓国のバス

明洞（ミョンドン）へ行くと、ほとんどの人が日本語で話しかけてきたので日本人の観光客がよく来ているんだと分かりました。案内人という人もいて、本当に観光客を大切にしていると思いました。店では試食をしてもらって買ってもらうという店が多かったです。

僕はお兄ちゃんが行ったからという理由で参加したので、僕も弟にすすめていきたいと思います。

この韓国派遣で経験したことをこれからの生活に活かしていきたいと思います。

歓迎会で食べたプルコギ

「韓国に行って」

東城陽中学校　２年　嶋崎（しまざき）　綾乃（あやの）

日本と韓国の違いは何だろうか？という課題で、私は韓国に行きました。今や過去、衣食住、人柄…。韓国は日本と隣の国同士ですが、似ているところもあれば、違うところもありました。その中でも私がとくに驚いた事や感心したことを紹介していきます。

予想以上に辛かった!!

一つ目は歴史です。遺跡や道具、昔の人々の祭りの様子などを慶山（キョンサン）市立博物館で見てきましたが、その中でも一番私の目を引いたのは農機具でした。千歯こきやかまなど、あまりにも日本とそっくりだったからです。私たちの祖先はその昔、渡来人から稲作の方法を教わりました。昔から交流のある朝鮮半島は、こんなところでも繋がりがあったのかと感じた時間でした。

次に食べ物です。これは韓国訪問にあたって私が応募したきっかけのものです。予想はしていましたがとても辛かったです。とくにチゲやビビンバ、キムチは、日本のはなんだったんだ！と思うほど想像を絶する辛さでした。新上（シンサン）中学校を訪れた時に食べた学校給食のビビンバでは、そこの生徒の人でさえよけて食べていました。韓国の人は辛い料理を辛いと感じないのでは？という私の考えはその時を境になくなりました。また、日本と違うのは毎回の料理に必ずキムチが付いてくることです。また味つけも濃く辛く、日本のキムチが韓国の水キムチのようでした。お菓子ではもちもちしたものやクルタレ（中国の「龍の髭飴」、韓国語はヨンスヨム）のようなユニークなものも数多くありました。またお茶ではニッキ茶というお茶を飲んだのですが、日本の八つ橋を溶かしたような甘い独特な味でした。

三つ目は服です。日本では古くから着物や浴衣が伝統の衣服ですが、韓国にも日本と似たような民族衣装があります。私が着たのはチマチョゴリですが、男性用は名前が違い、パジというズボンをはくそうです。

チマチョゴリは男性のよりも華やかでした。日本と違い、下が優雅なスカートでしたが、上は日本と同じように相手から見て右の襟が上にくるようになっていました。結婚式の衣装では、真っ白なのかと思いきや、普通の民俗衣装よりも赤や金糸を使ったものがあり驚きました。日本人の固定観念は世界では通用しないのだろうと思った時間でした。

四つ目は言語です。ハングルを使った韓国語は日本と同じように文の構造が似ています。それは実際に韓国語を聞いてもわかりました。

世界共通語として教わる英語は『主語→述語→目的語また修飾語』の順ですが、日本語や韓国語は『主語→目的語や修飾語→述語』の順です。つまり一つ一つの単語さえ覚えれば私たちは普通に日常会話が楽しめるということです。ハングル文字はローマ字と同じように母音と子音を組み合わ

上手にできるかな？

せて書かれているので、勉強すればすぐに身につくと思いました。

五つ目は建物です。私は寺や神社や聖堂など、昔からある建物が好きなので、韓国の建築物にはとても興味がありました。韓国訪問の二日目に山に登った時、古い建物を見つけました。屋根は瓦で、柱は木で、縁側があり、緑に囲まれる。それは日本と建物となんら変わりなく、また私が一番韓国を好きになった時でした。日本と韓国はとても文化や風習が似ている。なのになにかが違う。それがきっと人の物の考え方なのだと思います。

韓国の踊りに挑戦！

そして六つ目が性格や考えといった人に関することです。これが韓国訪問に応募した二つ目の理由です。慶山市とソウル市では、日本の大阪と東京のように人柄が違いました。慶山市の人達はおおらかで誰にも気がねなく接してくれる、ソウル市の人達は忙しく、しかしその反面最も栄え、にぎやかでたくさんの若い人達がいるという印象を受けました。少し離れるだけでこんなにも雰囲気が違うのかというのを知れた時間でした。

また、今回の最大の目的である中学生との交流では今年一番の思い出に残るだろうと思います。日本の学生のカリキュラムと違い、韓国は水準が高く新上中学校の授業風景をちらっと見たときとても教育に熱心であることがその一瞬だけでわかりました。また、有名な公立高校のように“文武両道”といった印象をとても強く受けました。はじめはそんな真面目な人達に相手してもらえるのかとても不安でしたが、その心配はバスを降りてからすぐに消えました。そこからさまざまな体験や話し合いをしましたが、こうやって分かり合うことが一番韓国と仲良くなれる最善の方法だと思います。この中学生との交流はとても短いものでしたが、とても温かいものでした。

今回の韓国訪問で、私はさまざまな体験をしました。たった4日間の訪問は、まさに国際化が求められる世界の中で貴重な交流だったと思います。私は4日間がとても楽しかったです。

慶山市場

雨の慶山市場
カッパを着て市場見学

とうがらしとにんにく

「韓国に行って」

東城陽中学校　２年　寺前（てらまえ）　匠哉（たくや）

僕が今回韓国に行って１番楽しかったのは、新上（シンサン）中学校に行ったことで、１番驚いたことは、新上中学校の校舎がすごく大きくて、生徒の数が多かったことと部活があまり盛んに行われていなくて、学校から帰ってもほとんど毎日塾に３時間くらい行っているということです。新上中学校に行った時は、体育館でダンスやテコンドーや太鼓などをしてくださいました。テコンドーは、日本でいう空手みたいなやつでパンチやキックで板を割ったりしてくださいました。女の人でも板を５枚くらい重ねたものを割っていてびっくりしました。剣にささったリンゴをけったりテニスボールをバック転で上にとばして、紙くずをヒラヒラさせてくれていました。

太鼓では、初めは新上中学校に人たちの演奏してもらって、次に僕たちに体験させてくれました。専用の服とズボンを着せてもらっていたら、何か話してきたから通訳の人を呼んだら、「足が大きくてはみでる」と笑いながら言われました。着替え終るとステージの上に行ってリズムを教えてもらっていたけどぜんぜん分からなかったです。でも先生が来て、めっちゃ簡単なリズムに変えてくれたのでよかったです。先生かどっか行ったら教えてくれていた人が急に「愛してる」と連発してきたので反応に困りました。

衣装が短い?!

それから食堂に行ってビビンバを食べました。僕はコチュジャンを少なくしてもらったけど辛かったのに中学生は僕の３倍くらいの量があったのに余裕で食べていたのでびっくりしました。それから腕輪を作りました。

カッパウィの登山では、初めは、すぐに頂上まで行けると思って走っていたら、着いたと思うとまだ第１ポイントだったので「マジで」と思いました。頂上に着いたら、先についた４人でお参りをしました。頂上からの景色は、曇っていたのでよくはなかったです。途中で雲がこっちにきて霧みたいになりました。

カッパウィ登山

化粧品を作るところではシャンプーと固形石鹸を作りました。作り終わると上の階の店に行ってお菓子とお茶を食べたらめっちゃおいしかったです。パジ・チョゴリを着せていただいた時になぜか緊張しました。

ソウルタワーに行った時は、上がる時のエレベーターは宇宙に行ってる画面で、下がる時は、宇宙から地上に戻っている画面で、下から上まですぐに着いたからびっくりしました。上に行くと、曇っていたので、川までしか見えなかったのが残念でした。上にあった駄菓子屋さんは 100g3800 ウォンだったので 100g ジャストを目指したのに 150g でした。トイレに行ったら、前がガラスだったので、トイレをしながらでも景色が楽しめました。

下に降りたら、少しだけ自由時間があって、チュロスの店でアイスにチュロスがささっているやつ

を買ったけどめっちゃ寒かったです。でも美味しかったのでよかったです。

初日の夕食のプルコギはすごく美味しくて、ご飯を４回おかわりして、プルコギを２回もおかわりしました。

２日目の韓定食の時もプルコギを３回もらって、そのうちの１個は大盛りにしてもらいました。ご飯も３回おかわりしてしまうぐらいおいしかったです。

慶山市場（シジャン）で食べたトッポギはおいしかったけどすごく辛かったです。

３日目のサムギョプサルも美味しかったです。

４日目のチゲのかわりに食べたビビンバはめっちゃ辛かったです。

南大門（ナンデムン）と明洞（ミョンドン）に行った時は、おみやげをいっぱい買えたのでよかったです。

僕は今回の中学生韓国派遣団として韓国に行って、日本と韓国の中学校の違いが分かったのと、これから韓国に行ってもバスには乗らないと決めました。

慶山市立博物館にて古代王族の衣装を試着

今回は家族で行くのとは違う楽しい体験ができたので、よかったです。またあのメンバーで韓国に行きたいです。

「韓国慶山（キョンサン）市を訪ねて」

東城陽中学校　２年　中村（なかむら）　千春（ちはる）

私がこの派遣団に応ぼした理由は、「海外に行きたい!!」という思いがあり、その中でも韓国には１番興味がありました。なぜかというと私は韓国ドラマを見たり、韓国の歌手の歌を聞いたりして好きになりました。だから韓国に行ってみたいと思っていました。参加できることが決まって本当にうれしくて毎日楽しみでした。

雨の慶山市場へ出発!!

そして当日、空港について飛行機に乗るとすぐに韓国に着きました。まず慶山（キョンサン）市へ行って市長の方達とあいさつをしました。慶山市と城陽市の関係や慶山市についての事が、わかりました。博物館では慶山市の歴史を実際に見て聞いて学習することができました。仮面や王様・王妃の服を着たりとてもいい体験ができました。慶山市の歴史は日本の歴史とにているんだなと感じました。慶山市のことをいろいろ学んで、次は市場へ行きました。少し雨が降っていたのでみんなでカッパを着て行きました。みんなでカッパを着て歩くのはすごくワクワクして楽しかったです。市場の方達は優しくて話しかけてくれる人もいました。そこで食べさせてもらった焼き鳥はすごくおいしかったし、何よりトッポギを食べれた事がうれしかったです。今まで食べてみたいなと思ってました。とても辛くて口の中がヒリヒリしたけど食べれて本当によかったし辛かったけどおいしかったです。

そして楽しみにしていた夜ご飯です。プルコギを食べました。本当においしくていっぱい食べました。本当に韓国に来て良かったなと思いました。夜は友達といろんなゲームなどしてとても楽しかったです。

組み紐のブレスレットが完成！

２日目は、中学校訪問です。学校に着くとたくさんの方々が道をつくっていてくれました。教室の窓からのぞいて「コンニチハー」と叫んでくれている人もいました。手をふってくれている人もいてみんなおもしろくて明るい人達だなと思いました。体育館へ行ってダンスなどを見せてもらいました。すごくカッコよくてびっくりしました。韓国の楽器の体験などもさせてもらい、韓国の友達とたくさん話したりふれあったりして本当にいい時間を過ごせました。あっという間に別れの時間が来て本当に悲しかったです。それから慶山市でカッパウィ登山・ハヌルホス見学など様々な体験をさせてもらいました。どれも初めての経験がいっぱいで本当に楽しかったです。

南山韓屋村にて昔の遊びを体験

３日目の朝、ソウルへ行くので慶山市の方々とお別れです。いっぱい話しかけてくださったり案内してくださったり本当に優しくしてくださったのでとてもさみしくなりました。ソウルに着くとビルがいっぱいで慶山市とは少し違いました。最初、仮面おどりを体験させてもらいました。みんなでおどってとてもおもしろかったです。南山（ナムサン）韓屋村（ハノクマウル）は昔の家がある場所でいっぱい歩いたりして、足が痛くなりました。ソウルタワーから見た景色はすごくきれいでした。エレベーターで上に昇るときに、何かこわそうだなと思ってたけど、上の映像を見ていたら一瞬で着いてしまって本当におどろきました。そして夜ご飯はサムギョプサルをお腹いっぱい食べました。日本でもサムギョプサルは食べられるけど韓国で食べるのは本当においしかったです。移動のバスはすごく速くてとても揺れるのでジェットコースターみたいでおもしろかったです。

４日目、最後の日です。今日で日本に帰らないといけないんだなと思うといやだな、まだ帰りたくないなという気持ちになりました。まず景福宮（キョンボックン）へ行きました。そこは、本当に大きくて広くてどうなってるかわからない広さでした。いっぱい見て韓国の歴史についていろんなことを知ることができました。仁寺洞（インサドン）では、いっぱい買い物をしました。かわいい雑貨や食べ物を買いました。「龍のひげ」というおかしを売っているお店の人がいっぱい話しかけてくれて、試食させてもらって少し安くしてくれました。昼ご飯には、ビビンバを食べました。韓国で食べるビビンバは本当においしかったです。

すると、あっという間に帰る時間になりました。ずっと韓国に居たいなと思いました。

今回、韓国へ行ってみて、初めてのことがいっぱい経験できたし、韓国は温かい人達ばかりで、もっと韓国が好きになりました。また韓国に行こうと思いました。とても楽しい４日間を過ごせました。ありがとうございました。

サプサル犬

「韓国派遣団に参加して」

南城陽中学校　２年　ヤールオール　エリフ

この韓国派遣を通して、楽しい経験もいっぱいできたし、それと同時にたくさんのことを学ぶことができました。

韓国一日目、空港を出て一番最初の印象はビニールハウスがとても多いということでした。市役所では、あたたかく歓迎してもらって、座ってる時はきん張したけどわくわくした気持ちでいっぱいでした。議会ではそこのいすに座って写真をとってもらって、貴重な体験になりました。

博物館では、慶山（キョンサン）市で言い伝えられていることや、昔のくらしを模型やレプリカなどを見て知ることができました。一つ印象に残っているのが、床に展示されていたつぼや、かざりのついた骨です。それは、文化パルクの歴史民俗資料館に展示してあるのとよく似ていたし、海をはさんでいる２つの国がなぜ同じようなうめ方をしていたのか、不思議に思いました。衣装体験も楽しかったです。

市場では、雨が降っていたのであまりよく見れなかったけど、市場で食べたトッポギはとてもおいしかったです。

晩ごはんでは、初めて韓国のプルコギを食べて、とてもおいしかったし、ごはんなどのおかわりが自由という事にびっくりしました。

市場で試食

二日目は、城陽公園に行ってから、楽しみにしていた中学校に行きました。中学校では、入口からはく手で歓迎してもらえて、日本語で話しかけてくる子もいて、びっくりしました。そして、結団式の時に話されてた通り、向こうの中学生はとても積極的だと思いました。ステージでは、ダンスは中学生と思えないくらい上手だったし、テコンドーがとてもかっこよかったです。楽器の演そうの時、両面たいこのばちが両方ともちがう形をしているのが、おもしろいと思いました。演そう体験のとき、衣装も着れて、すごく楽しかったです。私がやった楽器は大きい鐘のような楽器で、

伝統的な打楽器の演奏体験

それは中国の楽器だと思ってたので、ちょっとびっくりしました。給食ではビビンバがでて、日本で伝統の料理がはあまり給食にでないけど、そういうのがでるのは素敵だと思いました。給食の時に話していて思ったのが、アイドルグループの呼び方が日本と韓国とでは呼び方が違うということでした。「少女時代」は「ソニュシデ」など。一つおもしろいと思ったのが、Ｅメールのアドレスを交換するときにケータイを見ていると、文字をうつときに日本のようにただ文字を並べていくのではなく、子音と母音を組み立てるようにしてうっていた事です。それで、言葉が違うとケータイの使い方も変わってくるんだということがわかりました。中学校に行って、みんなフレンドリーで友だちもできたし、とても楽しかったです。サプサル犬研究所では、初めてサプサル犬を見て想像してたより大きくてフワフワしててかわいかっ

たです。びっくりしたのが、他の犬と同じように芸ができて、ドラマにも出演したということです。

カッパウィの登山では、けっこうすぐに登れたけど、頂上からのながめはとてもきれいでした。登る道にはカラフルなちょうちんがいっぱいついてて、たまにあるお寺みたいなとこは緑のもようがきれいでした。手すりのさくのとこには、たまにはすとか魚のかざりがついていておもしろかったです。頂上には博物館にも展示されていた像があって、これやったんやぁと思い、うれしかった。

ハヌルホスという化粧品会社では、食べても害がないというほど天然でつくられている化粧品を見たのもつくったのも初めてだったので、新しい発見でした。

三日目は、パスポートが見つからない人がいたとか朝からあったけど、ちゃんとソウルについて駅を出て思ったのが、こんなに高いビルが多いから、地震が少ないんだろうなということでした。お昼ごはんは、海鮮がいっぱい入った料理でおいしかったです。

光化門（クァンファムン）アートホールで聞いた打楽器演そうは、聴き流しているとただドンドコなってるだけだけど、よく聴いているとちゃんとリズムがあって音楽になっていると思いました。仮面もダンスもはじめて見たけど、大げさに動くとこは歌舞伎に似ていると思い、親近感がわいたし、実際やると楽しかったです。

南山韓屋村（ナムサンハノクマウル）では、ジブリでてきそうな建物がありました。周りをまわって広場のようなとこに戻ると、車輪のようなものを先の曲がった棒でころがす遊びがあってやってみるととても難しかったのですが、上手なおじいさんがいてびっくりしました。

楽しかったダンス

ソウルタワーでは、外国の人もたくさんいたし、お土産もたくさんありました。一番印象に残ったのが、エレベーターでした。だいたい高い建物をのぼるときエレベーターは時間が長くてひまだけど、ソウルタワーのエレベーターは天井のムービーを見ているとあっというまに着いたからです。耳が痛くもならなかったし、日本にもこんなエレベーターがあったらいいなと思いました。

四日目、景福宮（キョンボックン）を見学した後、仁寺洞（インサドン）、南大門（ナンデムン）、明洞（ミョンドン）でお土産を買うときに、初めて「値切る」という経験をしました。私は安くしてもらえませんでしたが、一緒に行ったメンバーの中には安くしてもらった人やおまけをつけてもらった人がいて、日本にはあまりない文化だから、おもしろいと思いました。「龍のひげ」の店では、日本語で話しかけてきて歌いながら作ってくれて、楽しい店でした。

お昼ごはんを食べた後、下の階ではチョコがいっぱい売ってて、手の中がいっぱいになるほどたくさんの試食をすすめられたのも、日本ではあまりないので、楽しかったです。

明洞では、化粧品やブランド物とかがいっぱいあって、日本の大阪や東京に似てると思いました。

韓国に行って印象に残ったのが、向こうの人の人間性でした。どこに行ってもだいたいみんな親しく接してくれるし、店で「値切り」ができるのも韓国の魅力でもあると思いました。中学校に行っても、話したことも会ったこともないのに初めから積極的に話しかけてきてくれて、みんなすぐに友達になることができました。試食でも、日本では置いてあるだけで自分でとって食べるのが当たり前みたいになってるけど、向こうでは「これもおいしいよ」「これもどう？」とどんどん出してきてくれたし、レストランではまるで自分のお母さんのように「いっぱい食べてね」と言っておかわりをすすめてくれたり、あまり食べない子を心配したり、親しく接してくれたことにも人間性があっていいと思いました。それと、日本ではファーストフードが主な食になってきているけど韓国では、給食にビビンバがでてたし、朝・昼・

晩ごはんの三食で必ずキムチがでるし、韓国料理の店はどこにでもあったし、昔からの自分の国の食の文化を大切にしていて、素敵だと思ったし、私も自分の国の文化を大切にしようと思いました。

1つ意外だったのが、地下鉄の時間がきっちりしていることでした。行くまではもっとゆったりしているイメージがあったけど、実際行って乗ってみると、駅から駅までが2分で日本の地下鉄と比べてもドアの開いている時間が短いような気がしたし、初めて乗る人は電車に乗るだけでも大変だと思いましたそして、地下鉄でびっくりしたのが各駅ごとにガスマスクがあることでした。それを見て北朝鮮に近いということを実感しました。

この韓国派遣を通して、話した事も無い子もいるなか、一緒に海外に行くということで不安な事もあったけど、実際行ってみるとみんなすぐ仲良くなれて、とても楽しかったし同時に韓国の文化も知ることができ、とてもいい経験になったし、この事は一生の思い出になると思います。また、これからもこういう交流を増やしていきたいと思いました。

地下鉄の駅で記念撮影

慶山市立博物館

◎三聖賢（サムソンヒョン）とは、慶山市で生まれた“民族の師匠”と言われる3人の人物です。

お祭りで使う仮面

三聖賢がお出迎え

床下に陳列された埋葬品

城陽公園

◎城陽市と慶山市の姉妹都市盟約（1991年1月22日締結）20周年を記念して慶山市に造られた公園です。2011年に着工し、2012年9月26日に竣工しました。

新山（シンサン）中学校

≪テコンドー見学≫

迫力のある演武に感激 !!

≪ダンス見学≫

K-POP に合わせたエネルギッシュなダンスを披露してくれました !!

≪給食体験≫

ボリューム満点の給食
美味しかったけれど
とても辛かった

文集の発行にあたって

2013 年度の中学生韓国派遣団に団長として同行してまいりました。9 人の団員の感想に綴られているように、各自が様々な体験を通して将来の大きな糧を得ることができ、派遣事業の目的を十分に果たしたものと思います。姉妹都市慶山(キョンサン)市では市役所、議会、慶山市場、市立博物館、新上(シンサン)中学校、城陽公園、サプサル犬研究所、漢方（韓方）を使った化粧品会社、仏教史跡など多岐にわたる見学先を準備していただき内容の充実した訪問となりました。なかでも中学校での学生同士の交流プログラムが本当に素晴らしい体験・経験になったと思います。9 人の団員全員が、積極的に新上中学校の生徒と様々な話題について語り合いふれあう事ができました。また、韓国の歴史や文化も真剣なまなざしで学んでいました。

崔永祚(チェ・ヨンジョ)市長と有村団長

慶山市は、韓国第 3 の大都市大邱(テグ)広域市に隣接する人口約 25 万人の都市で、学術、産業、農業が共存する街であり、広々とした幹線道路が整備され新しい中高層の集合住宅が各地に建ち並んでいました。大邱からの地下鉄も延線されて急速に近代都市化しているように感じられました。

また、八公山(パルコンサン)などがある北部は自然豊かな山にお寺のお堂が散在し、その麓では漢方を使った化粧品が作られており、産業育成に取り組んでいる姿勢が感じられました。

石鹸作り体験・・・大久保事務局長と真剣な表情で

慶山市を後にしてからは大都会で首都のソウルに移動し、文化施設や世界遺産景福宮(キョンボックン)、南山(ナムサン)韓屋村(ハノクマウル)で文化や歴史を体験し、徒歩や公共交通で街並みを感じる機会となりました。またソウルタワーからの雄大な眺めも強く印象に残ったと思います。

このような海外での経験をもとに参加された学生の皆さんが将来大きく成長されていかれることを楽しみにしております。同時に生涯にわたり友好親善と世界平和を願う気持ちを大切にしてくれることを期待いたします。

この中学生交流以外にも当市では慶山市と様々な機会において活発に交流を行っておりますが、若者同士の交流は両国の親善を進めて行くためにも大切な取組みであり、当事業の意義を改めて受け止めた次第であります。

末筆ながら、慶山市の訪問に際して、市長崔永祚(チェ・ヨンジョ)様、市職員の方々はじめ行く先々で大変丁重に心温まる歓迎を受けました。改めて敬意を表しお礼申し上げる次第であります。併せて、協会事業に対する城陽市の多大なるご協力に心から感謝いたします。

2013 年度中学生韓国派遣団団長
城陽市国際交流協会理事
有村　誠

編集・発行：城陽市国際交流協会
〒610-0121
城陽市寺田西ノ口 7-4　西邦ビル２階
TEL :0774-57-0713
FAX :0774-57-0714
URL :http://www.jiea.jp/